

NEWS

東北生産性本部

「人的資本経営の現在地と今後」

2024年度 仙台シンポジウム 7月例会開催

2024年度 仙台シンポジウム7月例会は、一橋大学 CFO教育研究センター長 伊藤 邦雄 名誉教授 を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました

■例会（2024年7月16日開催）

講師：一橋大学 CFO教育研究センター長 伊藤 邦雄 名誉教授
(プロフィールなど)

1975年一橋大学商学部卒業。一橋大学教授、同大学院商学研究科長・商学部長、一橋大学副学長を歴任。現在一橋大学 CFO 教育研究センター長を務めながら、東レ、小林製薬の社外取締役を兼任されている。

2014年に伊藤邦雄氏が座長を務めた経済産業省主催のプロジェクトの最終報告書、いわゆる伊藤レポートは、海外でも大きな反響を呼び、その後の日本のコーポレートガバナンス改革を牽引した。

2020年9月には、経営戦略や人材戦略の連動によって、持続的な企業価値の向上に向けた人的資本経営のあり方がまとめられた人材版伊藤レポートが公表された。人材版伊藤レポートでは、事業ポートフォリオの変化を見越した人材ポートフォリオを構築。イノベーション、付加価値といった企業価値を生み出す人材の確保、育成「人材をコストと捉えない」、「人的資本を経営に取り入れる」といった人的資本への考え方を改めながら、人材をとおして企業価値を創造していく取り組みが求められている。



【ご講演要旨】

「人的資本とは何か―」そこに適切な「環境」を整備し、会社(や上司)が提供することの必要性、人材戦略に求められる3つの視点・5つの共通要素と経営戦略との連動性などについて説明いただきました。現状の課題から今後対応が求められる課題など、従業員エンゲージメントの向上、パーパスの重要性などを含め、分かりやすいご講演をいただきました。

1. 日本型雇用システムの「意図せざる限界」
2. 人的資本の本質とは
3. 人材版伊藤レポート
4. 選び・選ばれる関係
5. 現地の課題
6. 人的資本開示のストーリー性とは

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。